昭和50年7月5日
広報あじす　毎月5日
お知らせ版　毎月20日　発行

山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 1番・〒754—12

印刷 阿知須砂郷よしの印刷

広報あじす

No.284

町の住民登録人口
（50年6月30日現在）前月比
世帯　2,091世帯　−1
人口　8.182人　+11
（男3.861人　女4.321人）
（国勢調査昭和45年10月1日）
世帯　2.008世帯
人口　8.035人
男3.730人　女4.305人

魅力ある農業めざす

将来展望にたっての事業
農村総合整備計画できる

阿知須にふさわしい農業はどうあるべきか、基盤づくりは地域環境は、農家の生活……など将来展望に立っての「阿知須町農村総合整備計画」ができあがりました。将来展望にたったうえで、事業を進めていこうというのがねらいで、これは、現状をふまえつつ、高い次元にたった、いわば将来構想ともいうものです。

施設や基幹作目

環境、人間関係の改善も

本町は昨年度、農林省から農村総合整備計画地域（農村モデル地域）の指定を受けました。これは県下では大津郡日置村についてで二・四％に当ります。十年前と比べると約五十ヘクタール減っていま番目の地域指定であり、四年間に八億円ばかりを投資して、基盤整備、環境整備をすることになっています。

今回、町が作成した「総合整備計画」は、この事業を具体的に進めていく前に、一体、阿知須町の農業はどうなっているか、その実態をつかみ、その中から将来、どのように進めていくのが望ましいか方向づけをするためにまとめあげたものです。

本町の総面積は二千二百四十四ヘクタール、そのうち九百九十五ヘクタールを農業振興地域に指定し、四百八十八ヘクタールを農用地区域としています。

町全体の農用地は六百八十三ヘクタールで、これは総面積の三〇％に当ります。十年前と比べると約五十ヘクタール減っています。

専業、兼業の割合いは四十五年農業センサス調査では専業一〇％兼業九〇％でしたが、ことしの調査では専業がさらに減っています（正式数字は農林省から未発表）

その要因としては都市近郊のため農業以外からの収入を得るみちがひらけていること、農業の魅力がうすれていることなどがあげられています。

したがって、本町の農業の将来像としては

❶生産基盤施設の整備によって近代的農業の確立をめざす
❷米、大根、西瓜、みかん、豚を基幹作目とし、これらを組み合わせた経営を高密的に行う
❸保護な生活をするための生活環境づくり
❹人と人との連帯感を育て情操豊かな人づくりにつとめるなどを掲げています。

生産基盤の整備とは農道、農業用水路、ほ場を整備し、農業機械の導入、省力化をはかろうとするもの。

基幹作目は何といっても米。その品種改良と貯蔵施設整備による品質管理につとめる。畑作の大根すいか、かぼちゃは生産団地の育成と施設による育苗、栽培技術の改善、土壌改良によって商品性を高める。

大根は現在約三十ヘクタールの積付けだが、これを約三倍に拡充し収穫は四倍が目標。

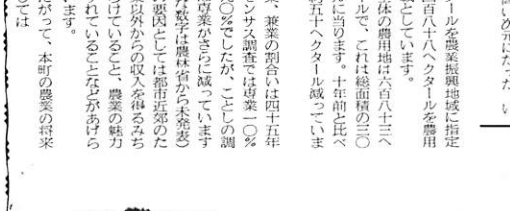
豚は五十戸が飼育、年間八千頭を生産しているが、これを千年後には一万頭までふやす計画。

生活環境については①災害防止②保健衛生の普及改善③利便と人間関係の創造④快適性増進⑤社会組織の強化と運営、など挙げられます。

安全で安心して住めることは基本的なものですが、さらに健康で人間関係もよくいき、その地域に住むよろこびが生まれるようにはかっていくことをめざしています。

このために人が集る総合的な施設（農村環境改善センター）の建設、各団体、グループ、地域の組織の拡充などうとめることを年目標にしています。

こうしたことは単に農業地域に限らず町内全域にあてはまることで、町ではこうした整備計画をもとに町全体の問題として取組むことにしています。



定規を使ってきちんと田植え……だがやがては……　（浜表地区で）

犯罪のない住みよい町に

19日 社会を明るくする運動推進大会

七月いっぱいは、社会を明るくする運動・月間です。犯罪を起した人が再び獄窓に戻らないように周囲の人が暖かく見守ると共に、犯罪を起さないようなよい環境をつくっていこうとする運動です。

本町では、この運動によせて、今月十九日夜七時から議事堂で、『社会を明るくする運動推進大会』を開きます。

この大会には、保護司会、更生保護婦人会の活動報告、阿知須派出所からみた本町内の犯罪についての発表、西川貞一氏（宇部時報社会長・元衆院議員）の講演などのほか、この運動に合わせて町内の小中学生から募集したポスター標語の入賞者表彰、それに音楽グループ「あじす101」のアトラクションを予定しています。

参加は社会教育、学校教育、防犯関係者を予定していますが、一般の人も参加を歓迎します。

農薬類の取扱いに注意

水稲の苗が青々と育っています。と同時に害虫もほぼ出る時期となり、これから農薬を使うことも多くなります。その農薬も使い方を過ると人命を失うことにあります。

子どもの手に届くようなところに置いていたために、子どもが飲んで死んだとか、うっかりとぼしたために池に入り、魚が死んだとか、いろいろ事故が多いようです。

農薬は人畜に影響を及ぼしますので、取扱いにはくれぐれも注意しましょう。

それと最近、過激派グループによる爆破事件以来、除草剤の取扱いも問題になっています。

塩素酸ナトリウムを使った薬剤がそれ、これはダイナマイトを作るときの原料にも使われており、扱い方によっては爆発ともなります。

したがって人に盗まれぬよう、また、温度の変化の激しいところは避けるように保管を考えましょう。

苗植え
姿消すか定規を使っての田植え

ことしの町内の田植えは二週間から三週間早く済んだといわれています。田植機がかなり普及し、能率化したこと、機械で植える苗の都合などあって、やがては六月十日ごろまでには殆んど終るように変ってくるものとみられています。

したがって、早乙女による田植え風景も少なくなっています。しかも、早乙女による手植えであっても殆んどがガンギキを使って線をつけ、その線にそって、前へ前へと植えていく方法に変っています。

むかしのように定規を使い後退しながら植える風景は殆んど消えました。本紙の写真はことし浜表地区でわずか一つ見かけたのを後世の記録の意味をも含めて撮ったものです。

お知らせ

岩倉にも投票所
15日の農業委員選挙

三年間の任期満了に伴う阿知須町農業委員会の選挙は八日告示、十五日投票の予定です。定員は十名。前回は定員より一名多くて投票、前々回は無投票でした。

八、九日に定員以上の立候補届出があった場合は投票となりますがそのときの投票所はこの所です。

前回までは役場と農協支所の二か所だったのを新たに岩倉を加えたものです。

投票時間は午前七時から午後六時まで。即日開票。

投票所は次のとおり

▽役場車庫＝阿知須小学校区（岩倉を除く）と浜表

▽農協野口支所＝井関小学校区（浜表、旦を除く）

▽岩倉消防機庫＝岩倉と旦地区

座席ベルトやヘルメットを
ドライバーの心得

以上の立候補届出があった場合は投票となりますがそのときの投票所はこの所です。

前回までは役場と農協支所の二か所だったのを新たに岩倉を加えたものです。

投票時間は午前七時から午後六時まで。即日開票。

投票所は次のとおり

▽役場車庫＝阿知須小学校区（岩倉を除く）と浜表

▽農協野口支所＝井関小学校区（浜表、旦を除く）

▽岩倉消防機庫＝岩倉と旦地区

急停車、衝突事故のとき、ベルトをつけていたら死傷事故にならなかったろうにということもしばしばあるようです。

特に高速道路を走るときは必ずつけましょう。

また、七月一日からは自動二輪車に乗るときはヘルメットをかぶるように道路交通法で義務づけられました。

かぶっていないと、一回に一点ごとの反則点が加算され、これが六回重なると三千日の運転停止処分になります。

処分を受けるぞ。受けないは別として自分自身交通事故からそして自分自身交通事故からそのために座席ベルト、ヘルメットとともにつけるように心掛けましょう

同乗者とも座席ベルトをつけるようにしましょう。

レントゲン無料検診
21日から25日まで町内巡回

町では、年一回の巡回無料結核検診（レントゲン撮影）を、七月二十一日から二十五日までの五日間行います。

結核検診は、結核予防法により年一回以上は、検査を受けるよう定められています。したがって、今回の検診は、町内在住者で、事業所・学校等で検診を受けられる以外の人は全員受けていただきます。

町では、各家庭に受診券を配付しますので、該当者の氏名を記入のうえ、近くの会場へお出かけください。

日程は次のとおり

7月21日（月）

	時分	旦北
杖川	9・10	山本理髪店
中野 節蔵		
源河	9・50	砂一
バプベイザン		
野口	10・40	砂三
古川 商店		

7月23（水）

岩前	9・10	砂一
中本 博道		
上	9・50	築地
為田 燈雄		
	10・40	小古郷

7月22日（火）

赤迫	9・10	中村
西村 春子		
福増 明義	10・00	東
井関	10・50	恵比須
向井関		
村田 巧	11・20	浜
仙在		
中戸 剛	13・10	前山
引野		
重田 昌則	13・50	飛石
旦東		
引野公民館	14・20	砂二
門松 豊		
野村	15・00	砂三
山本理髪店		
山口コープ	11・20	浜
井関小学校		
北方八幡宮	13・10	飛石
河内		
門松	13・50	北
吉藤 商店		
西村琴美子	14・30	北祝
浜表		
田中 勇治	15・00	南祝
〃	15・40	中村

7月24日（木）

臼井 新作	9・00	岩倉保育園
村藤アパート	10・00	石田
浜西 忠温	10・30	沖の原
竹田 正彦	11・00	浜
利東仏具店	13・00	石田 貴
江本 忠雄	13・10	11・20
上山 隆之	14・30	浜崎 商店
前山 社宅	15・00	13・50
阿知須駅前	15・40	14・50

7月25日（金）

岩西	9・10	岩倉保育園
沖の原	10・40	
浜	11・20	石田 貴
浜崎 商店	13・50	14・50

（社会福祉協議会へ）

◇香典返し▽三万円＝臼井新作さん（北祝）は妻ハルミさんの、西中三男さん（砂二）は母ハルミさんの▽二万円＝吉谷ユキエさん（西条）は長女和子さんの、田中勇治さん（浜表）は母シゲさんの香典返しとして。

（町へ）

▽一万円＝宮野義久さん（神奈川県津久井郡藤野町）は以前本町の農業技術研修のため吉田辰夫さん（浜表）に下宿しておられましたが、このたび町議会議員として、本町へ視察のため来庁されて、その際広報送料として寄付されました。

善意はここに

水難事故防止を

ツユがあけると暑い夏がやってきます。涼を求めて水遊びをする人が海やプールにくり出しますがそれだけに水難事故も多く発生するおそれがあります。

町内では小学校三校とも水プールがそろっていますので、小中学生は殆んど学校プールを利用していますが、それでも健康状態の悪いと泳ぐと事故死につながるおそれがあります。自分の身体をよく確めて泳ぎましょう。

7月のメモ

8日	農業委員会委員選挙の告示
〃	育児相談（後1時半〜3時）
〃	栄養改善推進員研修会（前9時）
10日	町議会（前9時）
11日	園芸教室（後1時半）
13日	町内野球大会（前7時半開会・阿中グランド）
14日	心配ごと相談（前10時〜後3時）
15日	農業委員選挙
17・18日	胃ガン検診（受付前8時半〜10時）
17日	栄養教室（10時）
18日	陶芸教室（後1時半・阿中）
19日	社会を明るくする運動推進大会（後7時）
〃	三校終業式
22日	あじのす大学（後1時半）
〃	豚コレラの予防接種
24日	幼児学級（後1時半）

所得税の予定納税
第一期は七月末日まで

所得税の第一期予定納期は七月三十一日までです。

所得税を一度に納めるのは苦になるものですが、それを見越してあらかじめ分納しておこうとする制度です。納期は七月、十一月、三月の三期に分けており、七、十一月分を予定納税といいます。

納税額は前年分の納税額を基にして計算した額の三分の一ずつを納めるわけです。

戦没者の子らへ
特別弔慰金支給
該当者は手続きを

目華事変以降の戦没者遺族で次に該当する人へ来年六月から特別弔慰金（年三万円の十年間）が支給されます。該当者は申請手続きをしましょう。

（該当する人）

今年四月一日現在で、戦没者の遺族で、公務扶助料、遺族年金等の受給者がいない次の人

▽目華事変以降に戦死病没した人の子

▽子がいない場合、戦没者の兄弟姉妹

詳しいこと、請求手続きは役場厚生課へどうぞ。

（とじておくと便利です）

あじす再発見 ⑳

阿知須郵便局と電話のあゆみ

○—電話のダイヤル化により阿知須郵便局（藤林俊雄局長）の人員配置も大きく変ります。

○—現在の局員は事務、配達を合わせて二十三人。そのうち十二人が電話の交換業務を兼ねていますが、電話自動化によって交換手がいらなくなり、結局四人が退職四人が転職するとのことです。しかも、その後は夜間は無人局となります。

○—もともと郵便事務は郵政省、電話は電々公社の所管です。しかし、阿知須局は公社から業務委託を受け、兼務をしてきました。それが、電話業務がなくなり、人手もそれだけ省けるというわけです。

○—阿知須で郵便業務が開始されたのは明治七年十一月十五日のこと。局舎は三千二百九十五番地つまり、現在の西条区中村博亮さん（明神様の北方約五十メートル）方でした。だから年をとった人は中村さんを郵便局と呼ぶこともあります。その後、大正九年に三千三百五十番地（中村・現在の村田鮮魚店）に移り、昭和三十三年八月二日、西条区の現在の地に新築移転して、こんにちに至っています。

○—電話が町内で初めて使われだしたのは大正十二年十二月二十一日から（お知らせ版五月号の電話開通記事の中で昭和二年七月とあるのは誤り）。

○—それだけに現行の受話器や交換器は希少価値があるので町ではこの機器を永久保存するため、電々公社に対して払下げを申請しています。

（写真は現在の交換台）

他局では殆んど共電式（受話器をとると交換台に通じる）を経てダイヤルに変ったのですが、本町は共電式を経ないでいきなりダイヤル式に進んだわけです。

○—現行の受話器や交換器は希少価値があるので町ではこの機器を永久保存するため、電々公社に対して払下げを申請しています。

（写真は現在の交換台）

（いよいよ16日午後開通）ダイヤル化された局線電話

阿知須局の電話ダイヤル化は今月十六日午後二時を期して開通します。町内の世帯数二千百に対して電話加入は約千四百件。加入率七〇％しかも、都市と比べて事業所電話が少ないので、一般家庭用の普及率が極めて高いといわれています。

町内には三十六年に始った農協有線放送も千六百余台あり、言数からいけば殆んどの家庭に電話が通じるようになりました。

市外局番は〇八三六六五。あとは特殊電話を除いて局番なしの二〇〇〇から四〇〇〇番台です。したがって、町外から阿知須町役場にかける場合、〇八三六六五—四一一一番で通じます。

電話交換局は浜区（共立病院と鉄道線路の中間）にあります。

◇　◇　◇

町の隅から こんにちわ ⑦

源氏ボタルを育てて

工藤太作（築地）

△五月から六月にかけて江畑溜池～温泉街一帯に源氏ボタルが飛び交い多くの人々の目を楽しませました。しかし、これは自然に育ったのではなく、この人の長い努力の効あって光の交響曲が生まれたのでした▽

○—これが養殖している箱です（写真＝蝋入ビンのような箱）プラスチックの容器に水とけを入れています。これに卵を産みつけているのです。小さい黄色に見えるのが卵です。二四〇五百個ぐらい産みます。ふ化すると樋を使ってやります。この庭の池にはカワニナがおります。

○—源氏ボタルの成虫の寿命は僅か二十日間ぐらいです。飛ぶように産卵し間もなく死にます。二十五日ぐらいしてふ化、水中に入って四月ごろ岸に上ります。幼虫の時も光を出すので、何匹ぐらいおるかすぐにとこのころ判ります。

○—ホタルの育つ条件としては水質、水温、川岸の草むら、川底の石などに恵まれていることです。餌はカワニナですが、これが育つことが一ばんです。私は溜川や秋穂の方からとってきて川にまいてやるのです。

○—ことしはうまく育ってみなさん、ご覧のとおりたくさん見ることができました。

○—これからもホタルを育てていきたいと思いますが、みなさんは「ホタル狩り」でなく「ホタル見物」あるいは「ホタル観賞」にしてもらいたいと思っています。

○—山口県体の時にはスズムシを県太子と夫妻に献上しました。宇部市のスズムシ運動では相談に来られて、ムシ各付けてあげたり育て方を指導したりしました。それが市民運動となっていま盛んになっています。

（宇部セメント海務課勤務・49歳）

食中毒にかからないように

六月に本町で赤痢患者が一人でました。これから秋にかけては、食べものが腐りやすかったり、体力が弱ったりで、病気にかかりやすい時期です。

こうしたことから、七月は全国的な運動として食中毒にかからないよう「夏季食品一斉取締り」が行われています。

家庭での食品、あるいは商店にある食品について取扱いを注意すると共に、いたんだものを口にしないようにと呼びかけています。

そこで、食中毒を防ぐ大きなこつを三つだけ覚えておきましょう。

❶はんぺん、ちくわ、かまぼこ肉だんごなど、俗にいう・ねりもの・をたべて中毒になるのが多いようです。したがってこの季節だけはねりもの、特に生で食べることは避けたいものです。シーズン中はラーメン一杯を食べても、ひと切れ入っている、ねりものでも残すくらいに気をつけましょう。

❷なるべくその通った大メーカーの品にしましょう。ジュースサイダーにいたるまでそうです。夏から秋にかけて日本脳炎が多く発生します。まず予防接種をしていない人は共立病院か同仁病院で受けましょう。

日本脳炎はコガタアカイエカが媒介するといわれていますが、この病気にかかると、高熱、意識不明になって死亡する人が多く、例えおうこの身体、言語、知能障害の後遺症が残るおそれがあります。これを防ぐ方法としては現在のところ、予防のワクチンを接種しています。接種料は一回四百円（集団接種は百五十円）です。

（写真は日脳の予防接種）

❸食中毒のばい菌をひろげてまわる最大の敵は、ハエよりは、むしろねずみです。そこで食物あるいは食器類はねずみの入らないものにしまっておくことです。理由はなるべく人間の手が触れない、オートメーション製品が安全だからです。

済まない人は病院で

日本脳炎の予防接種

売り主に欺されぬよう

土地を買うときはよく確めて

宅地を買う場合は契約をする前に町と相談しましょう。

不動産業者のことばをそのまま受けとり、契約、金の支払いをしたあと、うそだと判り、処理に困っている人があります。

土地を買うとき、売主や仲介に入った不動産業者から早く契約を早く手付金をといわれて、すぐ払う人がありますが、これは慎重にしましょう。

今春、町内の土地を買った人の場合、不動産業者が「町の許可を受けている、付近の人の承諾を受けている」といったので、本当だと思い広い土地を買ったところが総務課に相談されることをおすすめします。

農業振興地域内の土地には家が建てられなかったり、農地を宅地に変えにくいというようなこともありますが、農地を宅地に変えるか、あるいは引き抜くようにつとめていただいたらと願っています。

◆・善意はどこに…のところでふれているように神奈川県の町議会議員十六名が本町の議会運営を勉強に来庁されました。

その中に青年時代、本町で研修された宮野さんもおられました。そして、町へご篤志いただいたわけですが、当時の本町の人々の人情が忘れられないらしく、同僚をつれての訪問でありました。再びその人の足を誘うよう心のふれあいの場を買うときは町（窓口は総務課）と相談されることをおすすめします。

◆・セイタカアワダチソウがこれから秋にかけて花を見て居り、平海アサノ子供等はブルトーザのけずりし川底の泥にまみれし艀拾いをり　岩西　中本　幸枝

赤崎の山田に早苗運び来れば七日の月は水面に光る　岩西　中本　譲枝

振袖に帯雨コートを攫び出し心嬉しくそうと着てみる　梁元東原　築地　敏淑（金）広島県東広島市

佐々木孝明　厚狭郡楠町西吉部

祥子（久冨）砂二

細川　博　小野田市小野田

光恵（山田）築地

北野秀美　愛女（中木）　大島郡橋町

増野泰夫　長女　恵　6・18旦東

福本　博　二女　昭代　6・8小西

友永豊明　長男　忍　6・6東

国重信行　二男友浩　6・2向井関

父　続柄　子の名　月日　部落

出生（おすこやかに）

みんなの広場

あなたの文芸作品やご意見お気づきのことなど未発表のものをお寄せください。

俳句

公園の花壇に植えし三色すれ今をさかりに咲きそろいをり　砂二　橋本　淑子

調子よきリズムをもちて補装路に下駄の音響くをなつかしく聞く　浜　石田サダ子

我が書きし開店のポスターウインドに貼れば朱墨の日に輝けり　惠比須　中村美津子

健やかに子等の寝息の聞ゆれば灯りを消して我も寝るなり　北祝　原田　双恵

親鸞の偉徳を思ふ銅像を仰ぎ見るなり御堂の庭に　砂三　藤永ミツノ

明栄寺親鸞様の序幕式前で写真を撮っていただく　砂一　松代　二郎

恵まれて生いる思いに配達妻今日も文書を配りゆくわれ　砂三　渡辺　宮子

荷寧領を明日迎える夜の更けて揃ひし荷物の中に坐し居り　飛石　砂村ヤス子

短歌

五羽かえし燕の雛は今朝巣立ち低く飛び交う翼をさなし　小東　松尾　君代

寿司つけ一茶かゆもあり六十七夜来ぬ娘を待ちつつ花見て居り　小西　平海アサノ

七年の父の回忌に初り来て母も老いたと子等はささやく　小西　徳本　喜一

蛍とび川辺に立ちてながふりし団扇の風にゆらゆらと舞ふ　小西　藤重アヤ子

ことしもまた初夏の風吹く谷間の何処かに鳴く蛙の声　岩西　中本　幸枝

紫陽花はまだ色見せず今日も日照るか草焼きの煙かこめて山峡の里　浜　正司ウメノ

手づくりの新茶の香の芳しく昔なつかしヒき母偲ぶ　岩辻　中野小三郎

役場の窓

◆・やがて暑い夏です。庁舎は冷房施設ありますが、この夏は節約ムードでいくため、特殊な会議があるとき以外は冷房機械を運転しないことを課長会議で申合わせました。窓をあけて井関川の川風を浴びながら精進します。

慶弔録

出生（おすこやかに）

父	続柄	子の名	月日	部落
国重信行	二男友浩	6・2	向井関	
友永豊明	長男	忍	6・6	東
福本　博	二女	昭代	6・8	小西
増野泰夫	長女	恵	6・18	旦東
細川　保	長女	裕美	6・28	細北
重村　清	長女かおり		6・12	門松
吉田利雄	長女恵利子		5・27	前山
西田　巧	長女	笑	6・28	細北
西村　哲	長女真由美		6・25	井関

婚姻（おしあわせに）

藤岡　茂	喜代子（二谷）	小野田市西高泊
阿部高明		宇部市港町
寿真子（下野）	飛石	
前野義雄	飛石	
麗子（繁田）	山口市秋穂二島	

死亡（ご冥福を祈ります）

氏名	死亡月日	年令	部落
古谷　和子	6・13	40	西条